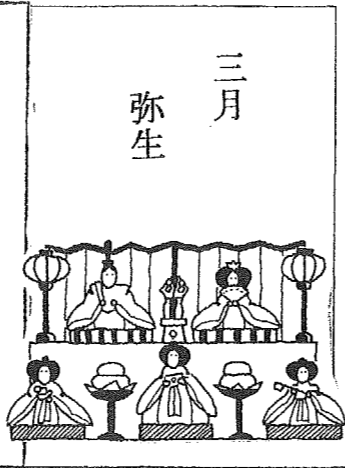


あしたば

発行所 平塚市平塚3-9-24
 電話 32-2083
 (宮代明信会長宅)
 発行者 富士見地区社会福祉協議会
 編集人 支援事業部「あしたば」

この「あしたば」は、高齢で
 独居の方。在宅介護を要する方と
 その介護者。90歳以上の方に、
 隔月(奇数月)発行しています。



桜ヶ丘公園でお花見を

ご近所の紅梅、白梅が見事に咲き、メジロのさえざりが聞こえた、
 と思ったら早くも3月になってしまいました。例年になく寒かった今
 年いかがお過ごしでしたか。

富士見地区での春の行事、公民館まつりは1日(土)2日(日)に
 開催されます。日頃公民館での活動を通して研鑽された成果の発表
 と、数多くの模擬店も出店されます。地区の皆様の交流を深める最
 高の機会ですので一人でも多くご参加下さい。

西工跡地に整備されていた桜ヶ丘公園もいよいよ、3月30日(日)
 の開園式が行われます。目の前にある神奈中バスの停留所も「桜ヶ
 丘公園」と新しく名前が変更され、遠くからも
 気楽に来園できます。富士見地区に出来る大き
 な公園です。お花見に、散歩に、体操に、健康
 増進のために大いに活用していきましょう。

楽しみですね。



富士見地区 社会福祉協議会会長 宮代明信

◎ みのり会給食会

- ・ 3月5日(水) 午前11時30分～富士見公民館 1階和室
- ・ 4月3日(木) 午前10時30分 公民館集合、七国荘でお花見

◎ みのり会茶話会

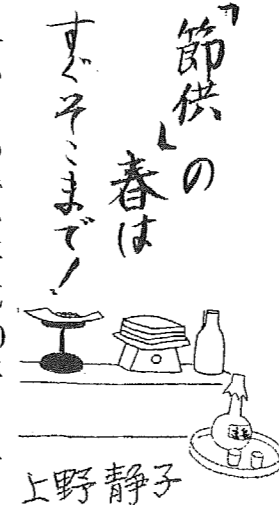
- ・ 3月19日(水) 午後2時～富士見公民館 1階和室



数年前から温泉ブーム。特
 に日帰り温泉を楽しんでいる
 老若男女が多い。日本列島は
 何処を掘っても掘る深さにも
 よるが温泉が湧くというのは
 定説になっている。
 でも、本当の癒しを求め
 なら都会の真ん中でなく、自
 然と温泉の融合する所に行き
 たいものですね。春夏秋冬そ
 れぞれの移り変わる景色を堪能
 しながらキュッと一杯、な
 んて細やかな小さい幸せを感じ
 じます。
 私のお気に入りには山梨市に
 ある日帰り温泉「ほつたらか
 し温泉」だ。「あつちの湯」
 “こつちの湯”と分かれてい
 る。どちらの湯からも昼間は
 浸かりながら富士山が眺めら

照井 誠

れ、陽が沈めば山梨市中心の夜
 景を眺められ、約400メートルの
 山頂にあるために頭上には満
 点の星空が広がり、まさに天地
 一体の夜景が楽しめる野天温
 泉です。ただ、全国温泉全体の
 湧出量は明らかに陰りが見え
 始めており、このままでは近い
 将来、温泉資源は枯渇すると関
 係者の危機感が強まっている。
 早いもので、平成20年も二ヶ
 月が過ぎようとしています。暖
 冬かと思わせる日々から一転
 して、寒気が猛威をふるい、東
 京ではもう五回も雪が降った
 とか。寒暖の差がはげしく、風
 邪もひき易くなります。ご要
 心！土の中で冬ごもりしてい
 た虫、木々の花たちが姿をあら



上野 静子

わし、また桃の節句に代表さ
 れる華やかな春はもうすぐそ
 こまで・・・中国では、こ
 の日に桃花酒を飲むとか。桃
 には邪気を払う力があるよう
 で。桃の葉は子供の汗もの予
 防に使った記憶があります。
 おひな様を飾り、子女が健や
 かに美しく成長されます様に
 祈り、家族の絆を深め、「節供」
 に言われるように、「節」は季
 節の変わり目、「供」は供えも
 のを頂き、白酒を飲み、季節
 の変わり目に流行る病を祓う
 と言われる、ひな祭りは奥深
 い言われが沢山ありますね。

公民館ふれあいまつり

- 3月1日(土) 10時～15時
 - 3月2日(日) 10時～14時
- どうぞお楽しみ下さい。
 ご来場を
 お待ちしております。



母から娘へ

片山美智子

娘が今年、成人式を迎え、私が着た振袖を着せた。三十年以上前に母が選んでくれた着物は、白地に大きく菊が何輪も描かれていたもので、娘が気に入るか心配だった。しかし、式から帰ってきた娘は皆と違った着物でとてもよかったと言ってくれた。今年も赤や黒の着物が多かった中で、その中で逆に新鮮だとカメラマンに言われたとご満悦だった。

私が若い頃は、友人の結婚式に出席するときは、ドレスより数段に栄えるからと着物を着せられた。しかし、今では、ドレスよ

り高いし着付けにもお金がかかるし窮屈だったり、着物を着る人を見かけなくなつた。でも日本の美しい伝統を細々とでも繋いでいきたい。洋服だったら流行があつたり、サイズが合わなかったりとなかなか親子二代で着ることとはできないが、そこが着物の素晴らしいと思う。娘は、自分に女の子が生まれたらこの着物を着せたいと言う。ならば大切に保管して、親子三代に挑戦しようではないか。その前に着物の扱いを娘にきちんと教えておかなければと思つた。

親心になって

松尾友子



一月末の日曜日。北京五輪の代表選考大阪国際女子マラソンを見ようとテレビをつけ

たが、チャンネルをまちがえて「新婚さんいらっしやい」の画面だった。白いシャツに黒のスーツ。椅子に坐つた太めの男性にオドロキ。「お相撲さんをどうしてやめたの？」と司会の桂三枝。「頸椎損傷で・・・」。紛れもなく、富士見町出身、朝迅風（のちに朝闘士）だった。

気のいい穏やかな表情は以前のまま。「愛知県一宮で福祉関係のイベントの仕事に携わっている」とのこと。「横綱朝青龍関がわが家に来訪した時、『もっと大きなテレビを買えよ』と懸賞金をポンと差し出してくれた」とエピソードを披露。三枝の軽妙な問いに明るくチャームングな奥さんとの息もぴつたりだった。「良かった、良かった。体に気をつけてね」とすっかり故郷の親心になって見入つていた。

認知症 サポーター



市高齢福祉課 田辺道代

もし、「嫁がご飯を食べさせてくれない。」と、隣の高齢の方から言われたらどのような対応しますか。平塚市では、市民の方を対象に、認知症を理解し地域の住民として、認知症のご本人やご家族を温かく見守り、支えていただく「認知症サポーター」を養成しています。先月も実施したところ、20歳代から80歳代まで30数名の方が参加されました。実際に認知症の家族を介護された経験のある方もおり、対応についていろいろな知恵が出されました。講座の感想を伺ったところ、

症になつたときにも尊厳をもつて生きていかれるように役に立てればと思ひます。ひとりが抱え込まない社会になるよう協力します。」とあり、主催者として背中をさらに押しただきました。

安易さのうしろには……



二宮やよい

今話題の冷凍餃子問題には驚かされたが、塩川爺やら都合恵子さんやらいろいろな方が、「食べる物位自分で作つたらどうですか？」と・・・多忙な方達には、重宝な優れ物である冷凍食品ですが、余りに頼りすぎているのは否めない。今から二十年も前の話ですが、末息子が幼稚園生の時、

ちよつと試しに冷食を使ってみようとお弁当に入れた事がありました。そしたらなんと帰る否や、「お母さん！今日のお弁当は手作りじゃなかったでしょ！」と。本当にドキツとする言葉でした。そんなに味が違うんだろつか？という思いと、楽をしようにとした心の後ろめたさを突かれた思いで、咄嗟に、「ごめん！」と謝つた記憶があります。この事件に支えられてその後もズツと手作りを守る事ができた訳だけれども、疑問を持ち始めたら際限もなく不安な物のオンパレードという恐ろしい世の中です。早く原因を追究して欲しいものです。仕事も大切でしょうが、せめて子供達の食べ物位手作りを！それが子育ての基本だと思いますよね。